

緊急報告 | 令和6年能登半島地震への支援活動報告

司会 帝京大学 富田 博信
司会 岡波総合病院 界外 忠之

10月31日(木)
11:00~11:50
第1会場

① JART の災害支援体制とオフサイト対応

日本診療放射線技師会 副会長
江藤 芳浩

令和6年1月1日、「令和6年能登半島地震」が発生し、本会は人道的観点から被災地支援を行いました。本会の支援活動は、被災地での情報収集および支援活動（オンサイト）と被害情報や支援活動の管理および支援技師の派遣準備等の本部活動（オフサイト）に分かれ、それらが密に連携して支援活動につながりました。

本報告では、能登半島地震の支援活動における本会のオフサイト対応の概要を報告するとともに、今回の経験をもとに今後の大規模災害での支援体制の在り方について述べることにします。

②「石川県庁調整本部および被災医療施設支援のオンサイト活動報告」

日本診療放射線技師会 業務執行理事
江端 清和

今回の震災では本会として1月10日に石川県庁へのリエゾンの派遣を決定し、翌11日から私が石川県保健医療福祉調整本部（調整本部）での活動を開始しました。内訳は、県庁での本部活動として連続した3週間、その後、被災病院支援技師として、のべ8日間の活動をしました。

本報告では今回のような大規模自然災害時に診療放射線技師職として何ができるのか、また、日本診療放射線技師会は平時からどのような準備が必要なのか感じたことを自身の経験をもとに述べさせていただきます。

講師



江藤 芳広

江端 清和

沖縄県企画

11月1日(金)
17:10~18:00
第1会場

司会 友愛医療センター 西尾 康孝

①水族館でX線を使ってみました

北部地区医師会病院 放射線室 関口 智子
医療におけるX線検査は、人間だけでなく動物にも欠かせない技術です。沖縄美ら海水族館では、ポータブルX線装置やCT装置を導入し、水生生物の健康管理に活用しています。私は沖縄CT研究会とともに技術協力し、貴重な画像を得ることができました。

動物、とりわけ水生生物には「動かないで」が通用しないため、検査成功のためには事前の準備が極めて重要です。適切なポジショニング、迅速な撮影のための計画などは、私たちの日常の検査においても共通であり、重要さを痛感する部分でもあります。さらに、得られた画像は人間のものとは異なり、画像解剖が難しいため、正常と異常の判別は一筋縄ではいきません。それでも、私たち放射線技師の知識と技術が、水生生物の健康維持に役立つことは感慨深いものがあります。この貴重な経験と学びを、ぜひ皆さんと共有したいと思います。

②沖縄美ら海水族館の健康管理 ～画像診断を中心に～

沖縄美ら島財団附属動物病院 院長 植田 啓一
沖縄美ら海水族館では、世界最大規模の大水槽を有し「沖縄の海を再現する」ことをコンセプトに約700種10000点余りの生物を展示し、様々な展開を行っています。我々附属動物病院は、水族館の展示生物であるイルカをはじめとする鯨類、海牛類のマナティー、ウミガメ類の他に板鰐類であるジンベエザメやナンヨウマンタなどの大型水棲動物の健康管理に取り組んでいます。

我々が対象としている水棲動物は、獣医学で学ぶ伴侶動物や産業動物とは大きく異なるために検査や治療に対するアプローチには多くの工夫が必要となります。そこで当財団では、大学や他の研究機関の協力を得て、疾病の確定診断に取り組み、検査や治療に適した医療機器の導入や改良開発を積極的に行ってきました。その結果、それらは画像診断器機による確定診断、外科手術の実施、人工尾びれの作成とそれをういた理学療法の実施、マンタの水中エコー検査など、水族館に於ける初の試みに繋がりました。

特に画像診断検査については、1990年代にX線検査機器を導入しウミガメ類や鯨類の標本を中心に検査を進めてデータの習得につとめました。2000年代に入り機器のデジタル化に伴い、それまで診断が難しかったイルカ類の肺野の診断を積極的に実施しました。現在ではCT検査機器を国内の水族館では初めて導入し、肺野だけでなく臓器などの疾患の確定診断に取り組んでいます。

今回の講演では、水族館で行われている様々な画像診断事例において写真や動画を用いて紹介します。

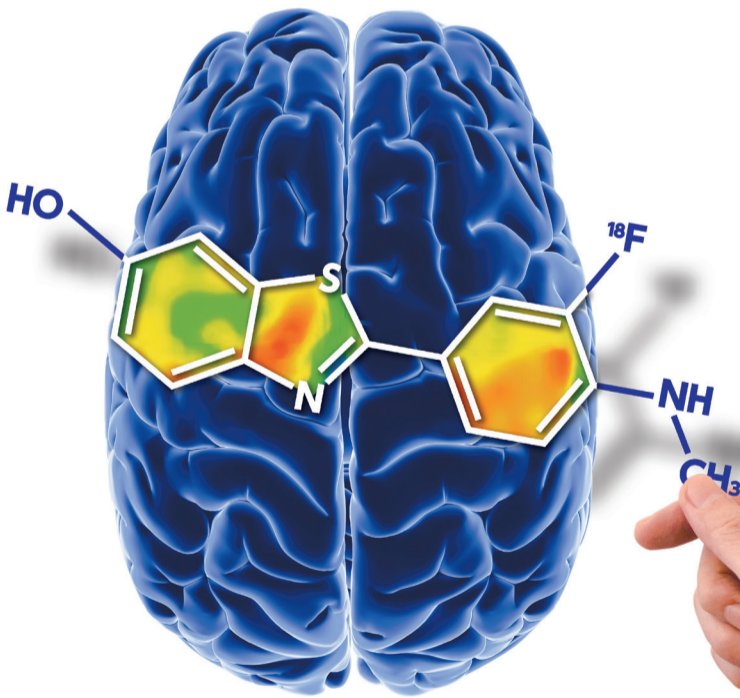
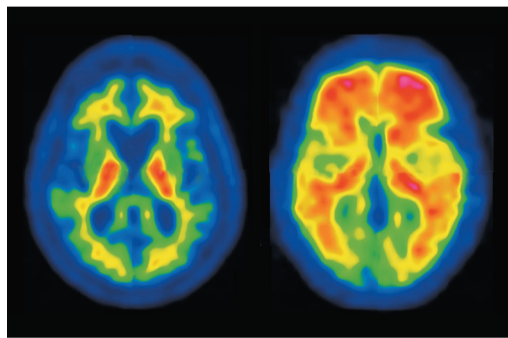


西尾 康孝

植田 啓一

関口 智子

nihon
medi+physics



放射性医薬品・脳疾患診断薬 薬価基準収載

処方箋医薬品[※]

ビザミル[®] 静注

放射性医薬品基準フルテメタモル(¹⁸F)注射液

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

●効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

®:登録商標

製造販売元
日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
製品に関するお問い合わせ先 ☎0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトでPET検査について紹介しています。
<https://www.nmp.co.jp>

2024年6月作成